



文星芸術大学  
附属中学校・高等学校  
〒320-0865  
宇都宮市睦町1-4  
電話(028)  
636-8000(中学直通)  
636-8585(高校直通)  
http://www.bunsei-art.ac.jp  
発行 教務部・学報編集係

# 自分というもの

文星芸術大学附属中学校・高等学校校長

上野 憲 示



自分というもの。考えてみれば不思議な存在である。思索する自分がいて、その己れなる確かな存在があったて、またこれを取り囲む世界、五感で認識できる外世界がある。それはあくまで己れの五感に映ずる精神的な世界であり、厳密に言えば時にイリュージョンでもあり得るイメージ世界である。

ただ、時間軸で推移する現実世界は、人間一人一人がどうあがいても、きつと自分の存在の有無も抜きにして確固として成立している世界であるに違いない。が、それは、内世界たる自己の背景としての外世界、直接関わる別個体としての他存在との邂逅の積み重ねで学習して得る文明社会である。自らを中心として精神的な距離により何層ものコアを形成する。母親、父親、兄弟といった家族や知人、赤の他人では個体認識に大きな差違がある。

DNA、生活習慣・生活パターン、学びの継続等によって、成長とともに自我の形成、自己確立がなされるが、独自の個体としてのアイデンティティの確立は個体差が大きい。特に、心と体の発達がちぐはぐな思春期の自我の目覚めは、心理的不安定を伴う成長期特有のもので、絶えず微細に揺れ動き、潔癖性から時に必要以上の自己嫌悪をも招く。思ったように素直に行動できない。時には正反対な行動をとってしまうこともある。

自動車を例にするまでもないが、人生、目的地へ向かうのに、安全を期して時間をかけ回り道をして行く場合もある。効率性よりも寄り道によって生涯のこやしを得ることもあり、またその効率という点でも、車で敢えて迂回路をとつても逆に時間もガソリン消費量も節約でき、結果的に近道ということもよくある話で、人生も同様である。

文星芸大附now!  
は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発行されました。

しい将来が拓かれていくことであろう。  
進み行くゴールも、高過ぎる目標はすぐに息が切れるし、自己嫌悪を呼ぶ。また、低過ぎる目標は気持ちが緩んでしまう。適切な負荷を織り込んだ、ほどよい目標設定で人生楽しくいこう。次代を担う若い諸君たちに期待してやまない。



ズミ(バラ科) 中山副校長撮影

- 1p <巻頭言 学校長より>
- 2p <高校 新年度挨拶・担当職員>
- 3p <高校 新任教職員紹介>
- 4p <高校 輝け! 文星健児>
- 5p <中学 新年度挨拶・担任より>
- 6p <中学 新任教員紹介>
- 7p <中学 宿泊学習>
- 8p <文星フォトギャラリー>

## 中学校行事予定

- ▽六月
- 7日(金) 社会科見学
- 8日(水) 第103回創立記念日
- 14日(金) 宇河中教研教科外部会 (授業四校時まで)
- 15日(土) 体育祭
- 21日(金) 入試説明会(学習塾対象)
- 22日(土) 総合的な学習
- 29日(土) 学習会
- ▽七月
- 1日(月)・2日(火) 期末考査
- 6日(土) 総合的な学習 保護者懇談会
- 19日(金) 第一学期終業式

## 高校行事予定

- ▽六月
- 7日(金) 新入生歓迎校内体育大会
- 7日(金) 実用英語検定(一次)
- 8日(土) 第103回創立記念日
- 8日(土)・12日(水) 保護者会
- 13日(木) 校内体育大会予備日
- ▽七月
- 1日(月)・4日(木) 期末考査
- 5日(金)・6日(土) 総合学力記述模試 (英・普三年)
- 6日(土) 総合学力テスト (英一・二年)
- 7日(日) 実用英語検定(二次)
- 19日(金) 第一学期終業式

高等学校

戦うということ



副校長 富田 誠

知彼知己 百戦不殆
不知彼而知己 一勝一負
不知彼不知己 每戰必殆
(孫子の兵法より)

つても負けることはない。
自分の力量を知っている
敵の力量を知らずに戦
えれば、勝つこともあるが負
けることもある。

できないのか...自分で自画
像を描くように確かめてみ
ましょう。
自分のことをよく理解で
きたら、周りの人たちのこ
とも同じように理解して行
きましよう。周りの人たち
の行動をよく見、言葉をよ
く聴いて、自分を前に出す
べきか、または退くべきか
を速やかに判断し、緩急自
在に自分を表現できれば社
会生活は滑らかに進みます。
戦いに臨み、「勝とう」と
思うのなら、先ず、自分や他
人への理解を深め、「負けな
いこと」を目指すことが大
切なのです。

「夢」実現へ



第1学年主任 直井 秀幸

入学して早いもので、約
二カ月が過ぎようとしてい
ます。そろそろ高校生活に
も慣れ、自覚も芽生え、勉強
や部活動など充実した毎日
を送っていると思います。
また、新しい仲間も増え満
足のいく生活環境が整いつ
つあることでしょう。
よりよい高校生活を送る

ため、生徒のみなさん「夢」
を持ちませんか。
例えば、勉強での「夢」、部
活動での「夢」、将来の「夢」
...このような「夢」を持つこ
とで、考えに変化が生まれ、
生活態度も変わるはずです。
また、「夢」を実現するため
の過程が大切になることも
分かるでしょう。
以前このようなお話を聞
いたことがあります。
「夢」のある人には
「希望」がある
「希望」のある人には
「目標」がある
「目標」のある人には
「計画」がある

「計画」のある人には
「行動」がある
「行動」のある人には
「結果」がある
「結果」のある人には
「反省」がある
「反省」のある人には
「進歩」がある
「進歩」のある人には
「夢」がある
このように様々な過程を経
て、「夢」実現に繋がってい
くのです。
生徒のみなさん、自分の
「夢」を持ち、その過程を大
切にし「夢」実現のために、
充実した学校生活を送りま
しょう。期待しています。

平成二十五年度 担当職員

Table of staff members for the first year, including roles like 校長, 副校長, 教頭, and various department heads.

Table of staff members for the second year, organized by grade groups (一組 to 十三組).

Table of staff members for the third year, organized by grade groups (一組 to 七組) and including administrative roles.

生徒会が活躍しています



生徒会会長  
セイフィバログ セナ

こんにちは。生徒会長のセイフィバログセナです。最近では気温の差が激しいですが、体調管理は大丈夫です。また、新入生の皆さんは学校生活に慣れましたか。慣れたからといって、気を抜いた生活をしてないように

しましょう！

さて、この暑い季節をより熱くする毎年恒例の新入生歓迎校内球技大会が今年も開催されます。今年も種目は、バレーボールと二年ぶりのサッカーに決定しました。みんなで団結して、盛り上げていきましょう。開催するにあたり、何かと不備もあるかもしれませんが、そこはご愛敬ということで、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

またこの度、生徒会に一年生が新たに四名加わりま

授業紹介(ベシツク)



総合ビジネス科科長  
長谷川 聡

本年度から、総合ビジネス科の一年生を対象に国・数・英の三教科で学校設定科目として「ベシツク」の授業を行っています。

この授業では、小学校・中学校の範囲の学び直しができ、自分の苦手な部分を再

確認し、それを繰り返して学習することで基礎学力の向上を目指していきます。一つの授業を二人の先生が担当しているため、生徒個々の進度に合った学習が行えます。

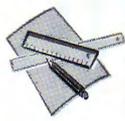
学び直すと聞くと出来ないからやると思いがちですが、スポーツの一流選手が基礎練習を大切にするように、学習においても基礎を再確認することはとても重要です。

自分が理解していると思っ

した。これで全ての学年が生徒会にそろういました。これから全校生徒が楽しい学校生活を送れるように、我々生徒会が死力を尽くして行きたいと思っております。どうぞこれからもご協力よろしくお願致します。



ったということも多くあります。学び直しでは、分らなくなつたところを再度学習できることもそうですが、基礎を再確認することでより高い学習成果を得ることが出来る重要な授業だと考えています。



一日の旅

五月八日(水)、一日バス旅行が行われ、生徒たちはバスに分乗して賑やかに東京デイズニールランドに向かいました。朝からの晴天に恵まれ、一年生は学校生活初となるクラス行事でもあり、車中からテンションを上げてくるクラスが多かったです。園内では時間を上手に使い、お目当ての乗り物を楽しめたようで、日常ではみられない笑顔でいっぱいであり、約五時間の滞在を楽しんでいました。

英進科研究会

本校英進科では、今年度より「英進科研究会」が発足した。生徒が中心となって、関心のある分野について仲間たちと研鑽を積む機会と

現在五つの研究会が毎週金曜日放課後に活動しており、その一つ、「英語研究会」ではオバマ大統領の就任演説の読解に取り組んでいる。また、「囲碁研究会」は囲碁を通して論理的思考力の向上を目指している。今後一年生も参加し、活動はますます活発になりそうだ。

高等学校新任教職員の紹介



鈴木 晃  
事務次長

文星芸術大学から学園の母体である高等学校に急速に異動して参りました。創立百年を迎え、伝統の香り漂う学び舎とその精神を受け継ぐ教職員の皆様、

そこで学ぶ明朗快活な生徒達の姿を見て、上野秀文先生の像の前で一礼をし、清々しい気持ちで業務にあたっています。次の百年に向けて学園の発展に寄与できるようにこれまでの職務経験を活かしながら、職責を果たして行きたいと思っております。至らない点も多いかと思



福岡 俊介  
芸術科(書道)

本年四月より文星芸術大学附属高等学校に芸術科書道の教諭として着任しました。火曜日から金曜日にかけて書道教室にて書道の授業を行っています。

最近、携帯電話やパソコン、スマートフォン、タブレット等の普及により、手で文字を書く機会が減っています。書道の授業では私自身が培ってきた技術をしつかりと伝えられるように、また、手で文字を書くことの大切さや面白さが伝わればと思っております。宜しくお願



丹羽 啓介  
商業科

高等学校に総合ビジネス科教員として四月に着任しました。生徒の皆さんには何度かお話ししましたが、私は本校の総合ビジネス科の卒業生です。六年ぶりに文

星の一員となりましたが、この間に学校を取り巻く環境も生徒も変わりました。それでも変わらないものは何かを着任してから幾度か考えてきました。それは、真つすぐさと礼儀だと思っ

# 輝け! 文星健児

## 部活動報告

四・五月に県内各会場で行われた栃木県高等学校総合体育大会(以下県総体)の主な結果をご報告します。今年はいつこの部活動が関東大会に駒を進めています。

※(英) 英進科  
(普) 普通科

### テニス部

#### 柿沼・山口組優勝

個人・団体ともに関東へ  
四月十三日(土)に行われた県総体ダブルス決勝戦で、柿沼拓美・山口優紀(ともに普三年)組が油布・水測(足工大附)組を破り、県大会を制して関東大会に駒を進めた。

また、シングルスでは、山口選手が3位入賞。二十九日(月)に行われた団体戦では強豪足工大附を退け、22年ぶり2度目の優勝を飾り、六月に東京都で開催される関東大会への出場を決めた。

### バスケットボール部

#### 県総体優勝

#### 関東大会へ

五月十一日(土)、十二日(日)に行われた県総体決勝リーグに、本校バスケットボール部が駒を進めた。

決勝リーグでは、対戦した作新学院、宇都宮、宇都宮工業を退け、三戦全勝で優勝し、六月に千葉県で開催される関東大会への出場を決めた。

### 柔道部

#### 団体準優勝で関東へ

#### 関東ジュニア本選進出

五月五日(日)に行われた県総体団体戦準決勝において、本校柔道部は強豪國學院栃木を下し決勝戦に進出。決勝戦で白鷗大足利に敗れるも、堂々の準優勝で六月に山梨県で開催される関東大会への出場を決めた。

また、十八日(土)に関東ジュニア体重別選手権県予選会が行われ、90kg級で廣澤甲如選手、60kg級で菊地瑞久選手(ともに普三年)が準優勝。66kg級で松本康佑選手(普一年)、55kg級で徳永英典選手、73kg級で高塩竜司選手、81kg級で小池亘選手(いずれも普三年)が3位入賞を果たした。6名とも七月に埼玉県で開催される本選に出場する。

### 卓球部

#### 迫田選手3位入賞

#### 団体とともに関東大会へ

五月三日(金)から行われた県総体シングルの部において、本校の迫田樹選手

(普三年)が3位に入賞し、六月に茨城県で開催される関東大会への出場を決めた。また、団体の部でも3位に入賞し、関東大会に駒を進めた。

### 剣道部

#### 田中選手5位入賞

#### 団体とともに関東へ

五月十二日(日)に行われた県総体個人戦で、田中浩平選手(普三年)が5位入賞を果たし、六月に埼玉県で開催される関東大会への出場を決めた。

また、団体戦においても3位に入賞し、関東大会に駒を進めている。

### 将棋部

#### 県大会団体戦初優勝

#### 個人・団体全国出場

四月二十八日(日)に行われた全国高等学校将棋選手権大会県予選に本校将棋部が出場した。

団体戦の決勝では、大田原と対戦し、三〇〇の完勝で創部以来初となる、念願の団体戦優勝を果たした。

また、個人戦では、菊地優志君(英三年)が決勝で斉田君(佐野)に敗れるも準優勝に輝き、団体とともに七月三十一日(水)から長崎県時津町で開催される全国大会への出場を決めた。

## 検定試験取得状況

(五月末現在)

### 第133回日商簿記検定

【二級】 近藤 将太

【三級】 大方 海 岡嶋 一輝  
小池 佑斗

### 第111回全経電卓検定

【二級】 遠藤 岬 神山 丈  
坂永 空嶺 櫻澤 秀明  
高橋 楓哉 栗田 慧  
福田 昂平 六川 史晃  
渡邊 尚樹 金柿 達哉  
小島 裕紀 永田 貴規

【一級】 吉沢 良太 安達 佳宏  
石川 貴之 上澤 玲良

### 日本漢字能力検定

【二級】 鬼澤 悠介 田口 俊樹  
上野 雅史 海野 日向  
中田 直希 岩本 雅也

【準一級】 高橋 祐貴

【三級】 長本 隼典 川村 琢人  
菊田 誉 鈴木 汰一  
半田 朋暉 大森 翔真  
河上 亮太 川野 雄登  
菊池 涼太 佐藤 蓮

【準二級】 松原 風希 山崎 涼平  
安納 惇 落合 稜  
石川 誠 猪瀬 幸喜  
小野 将司 加藤 達矢  
川上 晃広 岸田 侑也  
高橋亜夢留 高橋 直人  
東海林 翼 古川 貴哉  
小堀 義之 砂川 成哉  
野中 大輝

【一級】 荒井 翔 松下 浩之  
倉持 慧

【三級】 松田 光 小森 正敬  
遠藤 康太 加納 啓介  
長田 侑樹 香川 知樹

【準一級】 宇賀神慶行 速水 貴啓  
高野 幹

【三級】 北条 泰崇 橋浦 健太  
岩崎 貴将

## 文星散步道

(題字 大木教頭)

### 24 インターアクトクラブ年次大会

英語科 石井隆 詞

八月三日、インターアクトクラブの年次大会が開かれる。県内のインターアクターがホスト校に集結。年間活動報告・各種行事を通じて部員同士の交流を深める一大イベントだ。ホスト校は加盟14校で毎年交替。今年のホスト校は我が校で、文星芸術大学の講義室で行う。総勢二百名以上が集まる大規模な大会で、その準備に追われている。先日、パートナーである宇都宮ロータリークラブ

様から、例年に招待された。開催まであと二カ月。現段階での活動報告を依頼された。大勢の前で発表する緊張感で、生徒は予想以上にプレッシャーを受けていた。放課後の練習は失敗の連続。「漢字を読み間違えている」「一行、飛んだ。しっかりと目で追う」「学校名は省略しない」。緊張のため言葉に詰まったり棒読みになる場面など克服する課題は山積だった。合格点を出すには程遠い中で、本番を迎えた。発表当日は、火事場の底

力で何とか乗り切った。最後に励ましと厳しい意見を頂いた。確かに納得の行く出来栄とは言いが、最初の頃を思い出すと良くやったと拍手を送りたい。社会では成果や結果が重視される。しかし教師という立場では、それまでの過程も含めた観点から生徒と接することの大切さを再認識した。教師の体罰が問題視される中、子どももの成長過程をじつと見守る視点を思い出すことが求められるのではないか。

# 中 学 校

## 江戸文化を読む



副校長 中山 一郎

江戸は慶長八年の徳川家康による開府以来人口が増え続け、百万人を超える当時としては世界有数の大都市に発展した。

これだけの人口を賄う食糧、水、交通網、さらにはゴミや尿の処理など、それに見合ったいわゆるインフラの整備が必要であるが、それが非常にうまくなされていた。

余談であるが、江戸では廁の尿は全部農家がい取って肥料にし、長屋で出たものは大家の収入となった。また、かまどの灰も肥料になるので業者が回収していた。

文化の程度が高くなれば紙も使う。反古紙は何度も使い、最後に古紙屋が買い取ってくれたという。古着もしかり。これではゴミもほとんど出ない。つまり高

度なりサイクル社会である。平成の我々にはここから学ぶべきことが多くありそうである。

このような状況の中で江戸の庶民の文化が発展した。識字率の高さは世界の他の都市から比べ群を抜いていたといわれている。それは戯作本や瓦版が多く出版され、また貸本屋も盛況だったことからもうかがわれる。これにはやはり寺子屋などの私塾の果たす役割が大きかったといえよう。

やがて本を読むばかりでなく、俳諧や川柳などを競って「詠む」ようになった。これは字面の裏側を読み解く知識も持っていたといえる。これらの歌、句は瀟々があり、現代の我々が読んでも実に面白い。

芭蕉の『奥の細道』にある「荒海や佐渡に横たふ天河」は比較的分かりやすいが、「蚤虱馬の尿する枕もと」は背景をよく知らないとなりにくい。

庶民の川柳も面白い。芭蕉の句をひねって、「古池へその後飛び込む沙汰もなし」。

吉田兼好を題材にすれば、「名の高い草は双岡に生え。」また「色も酒も好きだが鰹

は嫌い」と鰹をけなした兼好をこき下ろしている。「徒然草」をよく読んでることがわかります。

「智で始め徳で収める小倉山」。百人一首を知らないと言えないし解らない。豊臣秀吉も狙上に上る。「猿末期犬と虎とに子を託し」

ここで吾が一句。「五階より降りては雀音鳴らし」

### 誇りについて



主任 教務 松本 悦子

今年の社会科見学は、大河ドラマの舞台でもある会津若松に出かけてきました。会津といえは、真つ先に思い出されるのが白虎隊ではないでしょうか。

藩のため、主君のため、故郷会津を守るために十六、七歳の少年達が命懸けで戦い、飯森山で自刃する悲劇は国民のだれもが知るところです。もちろん大人達も戦い、普段外には出ない女性達も戦い、戦死者もおびただしい数に上りました。大河ドラマの主人公の山本八重も、籠城して奮戦したといっています。いったい彼らを支えていたものは何だったのでしょうか。

# 第一学年担任から



担任 1年1組 阿久津 俊彦

江戸時代の武家社会において、武士にとつての誇りや名譽は、命よりもはるかに重いものだったのです。卑怯なふるまいや不名譽な言動を恥とし、それをそぐためには、命とひきかえにして責任をとり、主君のためにはすすんで自らの命を捧げたのです。もちろん現在では、自らの命を絶つなどもつてのほか、命は何ものにも代え難い尊いものです。ですが、これを現在の皆さんに置きかえてみてくださいます。生徒の皆さんは、自分の誇りやプライドをもっていますか？ 誇りは自分を高みに引き上げてくれる大切な心の支えです。生徒の皆さんには是非、高い誇りをもつてこれからの学校生活を送ってもらいたいと思います。そしてすばらしい人間に成長されることを切に願つてやみません。



担任 1年2組 大石 雅美

新入生男子八名、女子九名を迎えて、一年一組がスタートしました。入学して約二ヶ月が経ち、生徒たちも学校生活に慣れてきました。クラスの雰囲気はともも明るく、元気いっぱいでも、学習面、運動面においても、全力で取り組んでいる姿が見え、今後の六年間でこの生徒たちがどのように成長していくのか楽しみです。さて、クラス目標をみんなで決めました。一つ目は、「自分の夢のために努力を重ね、支えてくれる人に感謝の気持ちを持つ」、二つ目は、「お互いに注意できることが本当の友情」です。これらの目標を忘れず、目標達成に向けてライオン主義で努力してほしいと思います。

皆さんが入学してから二ヶ月があつという間に過ぎ、学校生活の時の速さに驚きを感じています。初々しくスタートした穏やかな春の「静かな二組」も、悪天候の宿泊学習での頑張りを経て、まるで季節が移り変わるかのように暑い夏の「やんちゃな二組」に変化し始めているようです。どの季節にも旬がある様に、いつでも旬な二組を表現し味わえるよう、これからも様々な個性を实らせていきたいと思っています。

二組の学級目標は「常に思いやりを持ち、明るく元気に皆と仲良く笑顔が溢れるクラス」に決まりました。それを合言葉に一年間一緒に何事にも全力で行動していきます。時は流れていきます。時は流れる。という表現があります。が、時を流すのではなく、様々な経験をしながら、時は積もる。という感覚で学び続けて欲しいと思います。

中学校新任教員紹介



渡邊 渡 美術科

本年度より、文星芸術大学附属中学校に、縁あって勤務させていただくことになり、本校は輝かしい歴史と伝統ある学園としてその名を馳せ、また、社会で活躍する優れた人材を大勢送り出している聞いています。こんなすばらしい学園に勤務できることはうれしいうりです。着任して早々、生徒たちの元気なあいさつや礼儀正しい振る舞いには感心いたしました。何ごとにも全力を尽くすライオン主義や三敬精神の校訓の下、立派な教育が行われているものと敬服いたしました。



高野 憲一 英語科

この四月から本校で勤務させていただいています。主に中学生の授業に出ています。

授業で驚いたことがあります。それは、授業中に質問があることです。その内容も英語を理解する上で欠かせない重要な点なので、教える方も楽しく授業に臨んでいます。公立中学校では、なかなか出会えないことです。本校生徒が、授業を大切にして意欲的に取り組んでいるいい例だと思えます。生活面でも、よくあいさつができる礼儀正しさに感心しています。



平野 順子 保健体育科

この四月より、縁あって文星芸術大学附属中学校に勤務することになりました。校訓である「三敬精神」の唱和から始まる朝のHR、落ち着いた雰囲気での授業に臨む姿勢、また、集会などで真剣に話を聞く姿勢に「文星ブランド」という言葉を思い出しました。以前から耳にしていた、生徒一人ひとりが「文星ブランド」を背負っている学校。その現場で、一緒に過ごせることに、幸せを感じています。この「縁」に感謝をし、日々、生徒たちと正面から向き合い、体力の充実・心の充実を図れるように、精一杯努力をしたいと思えます。

どんな事でも、ラストスパートにはとても大きなエネルギーが必要で、誰も持っているそのエネルギーを、大きなパワーに変えるための術を学ぶことができる「体育」を目指していきたいと思えます。

新入生一年間の目標

「一年間の目標」

一年一組 秋葉 千明  
私が中学一年生で頑張りたいことは、やはり勉強と部活です。

「決心」  
一年二組 吉井 里奈  
私が、この一年間で身につけたいのは、継続力と自律です。

勉強は、特に家庭学習をしつかりやっていきたいと思っています。英語の柏倉先生は、怒られるから宿題をやるのではなく、宿題が無くて、自分からやろうと思うことが大切だとおっしゃっています。私もこの言葉を実行して、将来の自分のためにしっかりとやっていきたいと思えます。

継続力を養うとは、テスト勉強などの時、一時だけ力を入れて取り組むのではなく、普段から一つ一つのことをしっかりとやっていくということです。普段やっていない事をやるというのはバランスよくありません。それに普段から、努力を積み重ねていけば焦ることもしないですみます。

一日二時間以上を目標にしていきたいです。  
部活は、先輩とかかわる一番の機会だと思うので、たくさん話しかけたりしたいです。敬語を話しながらも仲良くなっていきたいです。私は科学部に入学したので、週二回しかないので、先輩たちにいるいろいろな教員生とも仲良くなりたいです。

また、小学校の頃、人任せにしていたり、自分でやっているとはいえず、どこか甘えていたと思うので、中学生の今、自分の弱さを捨てて、新しい私として自律したいです。  
この二つを、一年間で身につけて、弱い自分から成長させていこうと思います。勉強、友達との関わり、先輩との上下関係などの高い壁にあたって、この強い決心を大切にして乗り越えていきたいと思えます。

部活動大会結果

五月十六日(木)から十九日(日)までの期間で、宇河地区春季大会が行われました。本校からは、剣道部(男女)、ソフトテニス部(男女)、卓球部(男)、バスケットボール部(男)が参加しました。大会結果の一部を報告します。

県大会出場おめでとう

女子剣道部の渡邊千優さん(二年一組)が県大会出場を決めました。六月七日(金)からの県大会での活躍を期待しています。

《剣道》

団体戦  
男子対 若松原中 一回戦  
女子対 晃陽中 一回戦

《個人戦》

渡邊千優 ベスト 32

《ソフトテニス》

団体戦  
男子対 古里中 一回戦  
女子対 城山中 一回戦

《バスケットボール》

男子対 豊郷中 一回戦

《卓球》

シングルス 一回戦  
ダブルス 一回戦

# 宿泊学習

中学校では、五月七日(火)～九日(木)までの三日間、国立那須甲子少年自然の家にて、宿泊学習を行いました。今年度も一～三年生までの縦割り編成で活動を行い、学年を越えた交流が生まれました。

## 【実行委員長】

三年二組 新井 大気

初日は、施設に到着して間もなくハイキングへと向かいました。五月だということ、外では雪が降っていて、とても寒く、足元の状況が最悪でした。先生もやめるべきか行くべきか、とても迷われたのではないかと思います。結局カッパを着ていくことになりました。

「何で雪の中を歩くの」という声が聞こえてきて、初めのうちは僕も同感でした。しかし、歩いて行くうちに気持ちが変わり、歩き終えたときには達成感を感じることができました。こんな体験はなかなかできないとみんなが言っていました。その通りだと思えます。僕にとっても忘れられない出来事となりました。

二日目はカレー作りがありました。この日は風がと



カレー作り。  
突風の中、火加減が難しい！

ても強く、体が冷え切っていました。そんな中、職員たちは自分たちの仕事を見つけ、行動していました。後輩たちは「まきを拾ってきますか?」と言って手伝ってくれ、その積極性にとっても感心しました。このカレー作りでは、職員と協力して一つのものを作り上げることが求められていたと思います。そして、それを達成することができたので、良かったと思います。他にも楽しかった行事が、ここには書ききれないくらいたくさんあって、とても充実した日々を送る事ができました。この宿泊学習では、普段学校で「学ぶ」とことは違い、自然の中で色々なことを「学ぶ」ことができました。そして色々「感じる」ことができたので、この経験を生活の中で生かしていければいいと思います。



ご飯は釜で炊きました♪

## 【実行副委員長】

二年二組 薄羽 珠ノ介

今年の宿泊学習は、一年生のときとは違う目標を持って活動に取り組みました。一番意識したのは、他学年との交流をたくさんするということ。去年は、先輩方からあまり話しかけられなかったので、今年は後輩に積極的に話しかけることで、気軽に話せるような雰囲気を作りたいと思いました。

特にそのようなことが必要だと感じたのは、二日目の野外炊飯とオリエンテーリングです。野外炊飯では各班に分かれてカレー作りをしました。調理をするための火も、自分たちで薪などを使って点けなければいけません。一人ひとりが自分の分担当をきちんとこなさなければおいしいカレーは作ることができないので

す。私達はしっかりと話し合い、それぞれが自分の分担当をきちんと把握して作り始めることが出来ました。そしてその後に行ったオリエンテーリングでも、班で作戦を立てるなどして、多くのコミュニケーションをとることができました。より多くのチェックポイントを回るために、班でまとまって行動することも出来ました。これからも、周りの人と交流することの大切さを思い出し、しっかりと実践していきたいと思っています。そして、その夜のキャンプファイヤーでは、各班で事前に考えておいた出し物で、盛り上がる事ができました。班によって色々な出し物があり、とても面白かったです。



キャンプファイヤーは、  
各班で出し物を！

今回の宿泊学習で、他学年との交流をするには、様々な工夫が必要だということを感じました。話せるようになった人とは、普段の学校生活に戻っても、そのような関係でいることが出来たらいいと思います。

## 二年二組 南部 萌

一日目は、強風と寒さで入所式も室内でやることになりました。その時は、雪も降っていて風も強く、とてもハイキングが出来るような天気ではありませんでしたが、昼食後に、沢歩きハイキングをするという話を聞いて、とてもびっくりしました。それでも防寒着を着て、その上に合羽も着て、全員でただ黙々と道を歩いていきました。途中で一班から五班と六班から八班がはぐれて、ちよつとしたパニックになったりもしましたが、そのおかげで活動班の人たちの間に協力する気持ちが生まれて、うれしかったです。少しぬかるんだり、つまずいて転びそうなどころがあると、「そこは危ないから気をつけてね」とか、「大丈夫?」など、相手を思いやる優しい言葉をたくさん聞くことが出来ました。雪などで色々大変なことがありましたが、一年生から三年生、全員にとって

とても良い経験になったのではないかと思います。二日目は、特にカレー作りが印象に残っています。カレー作りは、作るのも食べるのもとても楽しかったのですが、ご飯が早く炊けすぎて、冷たくなっていました。でも、あまり話したことのない先輩と仲良く話せたりしたので、とてもうれしかったです。普段あまり家事を手伝わないので、包丁で野菜を切ったりするときにうまくできませんでした。これからは、母の家事を手伝って、来年の宿泊学習までには、うまくできるようなしておきたいです。

三日目、学校に着くと、家でもないのに「帰ってきたー!」という気持ちになりました。ついさっきまでいた福島は思い出となり、「あれが楽しかった」「これが面白かった」とみんな本当に楽しそうに話していました。その中には、今まで話しているところを見たことのない、他学年同士が仲良く話している様子も見られて、宿泊学習の良さに気付きました。

### 第11期 生徒会役員



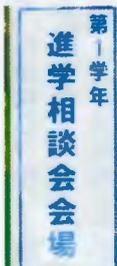
会長	3年5組	セイフイパーログ	せな
副会長	3年11組	栃木 哉	輝
	2年4組	舞木	巧
総務	3年4組	佐々木	翼
	3年8組	清水	侑馬
	2年8組	齋藤	大貴
	1年1組	鈴木	仁太
	1年8組	北原	賢太
庶務	3年4組	齋藤	義雅
	3年9組	鶴田	田嶋
	1年1組	田嶋	穂積
	1年12組	柳	竜一
会計	3年6組	渡邊	澄彦
	2年11組	船山	光彦
会計監査	3年5組	末永	圭祐
	2年11組	安達	佳宏

## 文星フォトギャラリー



文星芸術大学附属中学校 入学式 2013.4.5

文星芸術大学附属中学校 入学式 2013.4.5



高校/進学相談会(保護者対象)

入学式



高校/一日バス旅行



中学校/宿泊学習